

私の好きなとんぼの本②

川瀬敏郎

花人



かわせ・しろう 1948年京都府生れ
幼少より池坊の花道を学ぶ。日本大学芸術
学部卒業後、パリ大学へ留学。1974年
に帰国後は流派に属さず、独自の創作活動
を続ける。著書に『花会記 四季の心とか
たち』『川瀬敏郎 今様花伝書』『川瀬敏郎
一日一花』など。

本気であること



草づくし

白洲正子
120頁／1575円

草花そのものについてだけでなく、美術や民
俗へも筆がのびています。それだけに濃密です
が、文章はさりげなく、白洲先生も楽しみなが
ら書かれたのでしょう。写真もいまふうではな
いかもしれないけれど、思いがけない構図があ
つたりします。

選んだ5冊は何度も読み返しているものです。
どの本も、あらわしかたこそことなるものの、
背後に濃密さを感じます。表面的ではない、と
いうか。

本気であること、ほんものであること。それ
が人をひきつけるのだと思います。すべてを理
解しなくてもいい。ほんの1ミリでも伝われば、
それをもとに、人は歩いてゆくのですから。



日本の神々

白洲正子 堀越光信
野本寛一 岡田莊司
160頁／1995円



フランス ゴシックをゆく旅

都築響一 木俣元一
144頁／1470円



五重塔入門

藤森照信 前橋重二
128頁／1680円



イタリア古寺巡礼

シチリアーナボリ
金沢百枝 小澤実
128頁／1680円